

(別記)

## 令和3年度函館市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域の水田農業における主食用米作付面積の割合は5割弱であり、転作作物としては、飼料用作物および野菜の割合が多い。

野菜については、販売価格の低迷や連作による減収等が課題となっていることから、高収益野菜の作付や地力維持の取組を積極的に推進していく必要がある。

また、地域全体として、農家の高齢化による労働力不足が課題となっており、現状の作付面積を維持していくためには、農地中間管理機構の事業を活用した担い手への農地集積を行うなど、担い手による作付維持や青年農業者の育成を図っていく必要がある。

### 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当市では現在、農協と連携を図りながら転作を推進している中で、特に飼料用米への転作が進んでいる。また、高収益作物農地の集積・集約化に向けて人・農地プラン等の連携を図りながら、生産性の向上に向けた取組を行う。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

家族経営が多く、矮小な農地が多い本市において、団地化された農地の畑地化に向けた取組はハードルが高く、有効利用は大変困難であるが、水張りを組み入れない作付体型が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田は常に把握することとし、これを踏まえて、5年後10年後に向けては関係団体と畑地化の可否について協議を進めて行く必要がある。

### 4 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。また、従来の販売ルートに加え、地場での消費拡大を図るため、地域の学校給食など新たな販売ルートの開拓を目指す。

#### (2) 備蓄米

販路の課題があることから、農業協同組合ほか関係機関による連携を図りながら生産を図り、一定量の確保に努める。

#### (3) 非主食用米

##### ア 飼料用米

販路や生産技術等の課題が解消されつつあることから、関係機関による連携を図りながら生産拡大を図る。

#### イ 米粉用米

販路の課題があることから、関係機関による連携を図りながら生産を図る。

#### ウ 新市場開拓用米

販路の課題があることから、関係機関による連携を図りながら生産を図る。

#### エ WCS用稲

販路や生産技術等の課題があることから、関係機関と連携し、計画的な生産を図る。

#### オ 加工用米

従来の加工米飯等の高価格帯だけではなく、味噌・焼酎・穀粉等の低価格需要についても取り組みながら、水田水張り面積を維持するため、産地交付金を活用しつつ、需要動向等に基づく主食用米の生産量とバランスのとれた生産を推進していく。

#### (4) 麦、大豆、飼料作物

実需者の意向を聞き取りながら一定量の確保に努める。

#### (5) そば、なたね

実需者の意向を聞き取りながら一定量の確保に努める。

#### (6) 高収益作物（園芸作物等）

馬鈴薯、人参、大根、キャベツ、白菜、かぼちゃ、ねぎ、スイートコーン、ブロッコリー、枝豆、ほうれんそう、アスパラガス、かぶ、トマト、こまつな、にら、ピーマン、水菜、レタス、ミニトマト、ナス、さつまいもを振興作物に位置づけ、転作作物としての生産を維持する。特に、当地域の基幹作物である馬鈴薯、人参の作付および担い手農業者による作付面積の拡大を図る。

### 5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	令和5年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	73.2	73.2	73.2
備蓄米			
飼料用米	2.1	2.1	2.1
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米	4.3	4.3	4.3
麦			
大豆	0.4	0.4	0.4
飼料作物	47.4	47.4	47.4
・子実用とうもろこし			
そば			
なたね			
高収益作物			

	・馬鈴薯・人参	7.3	7.4	7.6
	・野菜（馬鈴薯・人参以外）	12.2	13.9	14.1
その他				
畑地化				
		0	0	0

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	馬鈴薯（でん粉原料用を除く） 人参	地域振興作物助成	作付面積	（令和2年度）7.3ha	（令和5年度）7.6ha
2	大根 キャベツ 白菜 かぼちゃ ねぎ スイートコーン ブロッコリー 枝豆 ほうれんそう アスパラガス かぶ トマト こまつな にら ピーマン 水菜 レタス ミニトマト ナス さつまいも	地域振興作物助成	作付面積	（令和2年度）12.2ha	（令和5年度）14.1ha
3	飼料用米  米粉用米	複数年契約加算	取組面積・数量 作付面積・数量 取組面積・数量 作付面積・数量	（令和2年度）2ha・12t （令和2年度）2ha・12t （令和2年度）0ha・0t （令和2年度）0ha・0t	（令和4年度）2ha・9t （令和4年度）2ha・9t （令和4年度）1ha・5t （令和4年度）1ha・5t

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり